



令和6年度主任介護支援専門員 更新研修オリエンテーション

**KA
CM**

鹿児島県介護支援専門員協議会

1.受講手順・留意事項一覧(今後の受講の流れ・留意事項)

R6年度主任介護支援専門員更新研修受講手順

鹿児島県介護支援専門員協議会

期日	科目	受講手順
11月8日 ～11月27日	動画視聴 動画No.1 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向	11月8日から講義動画を配信します。 11/8～11/27の期間内に左記の5科目を視聴完了する。 ★ホームページ掲載「動画配信受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶動画配信受講マニュアル ※ 視聴が終わったらず「視聴完了」をクリックする。
	動画視聴 動画No.2 ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	動画No.4を視聴完了後、発表事例について、自己点検シートに記入しながら点検をする(事前学習)
	動画視聴 動画No.3 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	動画No.5を視聴完了後、自分がこれまでに指導した脳血管疾患のある方の事例(※指導経験がなければ、自身の実践)について自己点検シート(1期、2期どちらかひとつ)に記入をしながら点検をする。(事前学習) 左記5科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習に進める。
	事前学習 ①自己点検シート	事例発表者は指導したケアプラン等(開催要綱・6提出事例について※3参照)を手元に準備し、作成した提出事例様式4をパソコンに開いてからズームに入室する。名前の表記は「G番号 個人名フルネーム」(1介護太郎) ★ホームページ掲載「ズーム受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶ズーム受講マニュアル テキスト類・左記科目の事前学習した点検シートを準備しズームに入室する。
11月28日 (木) (9:30～16:30)	演習 (ズーム)	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント (9:30～11:30) ②脳血管疾患のある方のケアマネジメント (12:30～16:30)
	動画視聴 動画No.6 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	11/28～12/4の期間内に左記2科目を視聴完了する。 動画No.6を視聴完了後、自分がこれまでに指導した脳血管疾患のある方の事例(※指導経験がなければ自身の実践)について自己点検シートに記入をしながら点検をする(事前学習)
11月28日 ～12月4日	事前学習 ③自己点検シート	動画No.7 ④大脳脊髄部骨折のある方のケアマネジメント
	動画視聴 動画No.7 ④大脳脊髄部骨折のある方のケアマネジメント	動画No.7視聴完了後、自分がこれまでに指導した大脳脊髄部骨折のある方の事例(※指導経験がなければ自身の実践)について自己点検シート(1期、2期どちらかひとつ)に記入をしながら点検をする(事前学習) 左記2科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習を待つ
12月5日 (木) (9:00～13:00)	演習 (ズーム)	③認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
	12月6日 (金) (9:00～13:00)	④大脳脊髄部骨折のある方のケアマネジメント
12月6日 ～12月15日	動画視聴 動画No.8 ⑤心疾患のある方のケアマネジメント	12/6～12/15の期間内に左記2科目を視聴完了する。 動画No.8を視聴完了後、自分がこれまでに指導した心疾患のある方の事例(※指導経験がなければ自身の実践)について自己点検シート(1期、2期どちらかひとつ)に記入をしながら点検をする(事前学習)
	事前学習 ⑤自己点検シート	動画No.9 ⑥脳性肺炎の予防のケアマネジメント
	動画視聴 動画No.9 ⑥脳性肺炎の予防のケアマネジメント	動画No.9を視聴完了後、自分がこれまでに指導した脳性肺炎の予防の事例(※指導経験がなければ自身の実践)について自己点検シートに記入をしながら点検をする(事前学習) 左記2科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習を待つ
	事前学習 ⑥自己点検シート	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シートを準備しズームに入室する。 事例報告者は指導したケアプラン等(開催要綱・6提出事例について※3参照)を手元に準備し、作成した提出事例様式4をパソコンに開いてからズームに入室する。
12月16日 (月) (9:00～13:00)	演習 (ズーム)	⑤心疾患のある方のケアマネジメント
	12月17日 (火) (9:00～13:00)	⑥脳性肺炎予防のケアマネジメント
12月17日 ～12月22日	動画視聴 動画No.10 ⑦看取り等における看護サービスの活用に関する事例	12/17～12/22の期間内に左記2科目を視聴完了する。 動画No.10を視聴完了後、自分がこれまでに指導した看取り等における看護サービスの活用(※指導経験がなければ自身の実践)について自己点検シートに記入をしながら点検をする(事前学習)
	事前学習 ⑦自己点検シート	動画No.11 ⑧家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント
	動画視聴 動画No.11 ⑧家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	動画No.11を視聴完了後、自分がこれまでに指導した家族支援・社会資源の活用(※指導経験がなければ自身の実践)について自己点検シートに記入をしながら点検をする(事前学習) 左記2科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習を待つ
	事前学習 ⑧自己点検シート	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シートを準備しズームに入室する。 事例報告者は指導したケアプラン等(開催要綱・6提出事例について※3参照)を手元に準備し、作成した提出事例様式4をパソコンに開いてからズームに入室する。
12月23日 (月) (9:00～12:00)	演習 (ズーム)	⑦看取り等における看護サービスの活用に関する事例
	12月24日 (火) (9:00～13:00)	⑧家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

留意事項一覧

鹿児島県介護支援専門員協議会

動画配信	1. 動画配信については、動画配信受講マニュアルをよく読んで手順に従ってください。 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶動画配信受講マニュアル 動画配信受講マニュアルはこちら
	2. 動画配信は早送りはできません。一時停止はできますが、一時停止している間にネット環境や機材トラブルなどで途切れてしまった場合は、最初からの再生になりますのでお気をつけください。
	3. 動画資料が終わったら、必ず「視聴完了」ボタンをクリックしてください。視聴完了をクリックして登録をしないと完了となりません。
	4. 該当科目の動画配信を期間内に視聴完了しないと演習には参加できません。
事前学習	6. 第4章「ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表」につきましては、演習が始まる前までに該当科目の動画視聴をした後、 自分がこれまでに担当したことのある該当科目の事例 について、自己点検シートの記載をしてください。(事前学習となります) 注! 4章-1(動画No.3)「生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」は提出した事例3事例のうち事例発表に該当しない2事例のどちらかについて自己点検シートの記載をする 注! 事例発表に該当する科目については、発表する提出事例を自己点検シートの記載をする
	7. ズームの操作方法や受講環境などにつきましては、ズーム受講マニュアルをよく読んで参考にしてください。 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶ズーム受講マニュアル ズーム受講マニュアルはこちら
オンライン演習 (ズーム)	8. ズームでの演習はチャットや画面共有の操作が必要になる場合があります。
	9. 名前は「グループ番号 個人名フルネーム」(例:1介護太郎)と表記してください。
	10. 音声はミュート、ビデオカメラはオンでお待ちください。ビデオカメラはオンの状態で受講が確認されないときは受講が認められない場合があります。 また、オンの状態でも、カメラに顔や姿が見えないなど受講状況が確認できない場合も同様です。カメラの角度や設置箇所の調整を行ってください。
	11. 演習はブレイクアウトルームに分かれてグループワークをします。個室や静かな環境での受講が望ましいです。周辺の音が入り込まないようにヘッドホンマイクの使用や環境整備の配慮をしてください。また、個人情報の取り扱いの観点から、事業所内の掲示物等の映り込みにも留意してください。
	12. ズーム演習は、画面共有などの操作が必要なためパソコンでの受講を原則としておりますが、ネット環境や機材のトラブル時は一時的にスマートフォン等での受講を認める場合もあります。緊急時に備えてスマートフォンへズームアプリのインストールをお勧めします。 トラブル時の対応や備えに関しては各自でご検討ください。
	13. ケアマネジメントの演習は、事前学習した自己点検シート、演習シート、テキスト類を準備ください。事例報告者は、アセスメント、サービス計画書、担当者会議の要点、支援経過記録、モニタリングまたは評価表等を手元に準備してください。また、画面共有を行うため、作成した様式1のデータをパソコンに開いてからズームに入室をするとスムーズです。
	14. 受講管理システム・マイページの情報登録が不完全な方が多くみられます。当協会会員の方は最新情報へ更新を、新しく登録をされた方は所属事業所情報、メールアドレスに未記入や誤入力の有無をご確認の上、入力完了をさせてください。 未記入や誤入力がありますと、今後、事業所への連絡、メールでのお知らせが届きません。

日本総研・「適切なケアマネジメント手法」に関連する事業成果物
(<https://www.jri.co.jp/service/special/content11/corner113/caremanagement/04/>)

事前学習(宿題)

[illegible]

項目一覧（看取り等における看護サービスの活用に関するケアマネジメント）

※専門研修ⅡテキストP291-292＜支援を行う上での重要な視点＞を参考に基本ケア項目一覧から抜粋及び編成

「適切なケアマネジメント手法」看取り等における看護サービスの活用に関するケアマネジメント				適切な支援内容とするための関連するアセスメント/モニタリング項目等			
想定される支援内容				看取り等における看護サービスの活用に関するケアマネジメントで特に重要な視点の項目	アセスメント項目	モニタリング項目	相談すべき専門職
基本方針	大項目	中項目	想定される支援内容				
I 尊厳を重要視した意思決定の支援	I-1現在の全体象の把握と生活上の将来予測、備え	I-1-1 疾病や心身状態の理解	1 疾患管理の理解の支援	・ 疾患の情報を医療機関や家族から正確に把握できているか	○	○	医師・看護師 薬剤師・歯科医師 歯科衛生士 OT/PT/ST 管理栄養士 介護職
			2 併存疾患の把握の支援	・ ターミナル期であることの確認	○	○	
			3 口腔内の異常の早期発見と歯科受診機会の確保	・ 本人の意向や告知の有無、家族の意向の把握	○	○	
			4 転倒・骨折のリスクや経緯の確認				
		I-1-2 現在の生活の全体象の把握	5 望む生活・暮らしの意向の把握	・ 今までの生活習慣や生活歴の把握	○	○	医師・看護師 薬剤師・歯科医師 歯科衛生士 OT/PT/ST 管理栄養士 介護職
			6 一週間の生活リズムとその変化を把握することの支援	・ 療養時の生活習慣と生活環境の把握	○	○	
			7 食事及び栄養の状況の確認				
			8 水分摂取状況の把握の支援				
			9 コミュニケーション状況の把握の支援				
			10 家庭や地域での活動と参加の状況及び環境の把握の支援	・ 家族構			
		I-1-3 目指す生活を踏まえたリスクの予想	11 口腔内及び摂食嚥下機能のリスクの予測	・ 在宅医			
			12 転倒などの体に不可のかかるリスクの予測	・ 本人と ・ 生活習			
		I-1-4 緊急時の対応のための備え	13 感染症の早期発見と治療	・ 在宅医			
			14 緊急時の対応	・ 急変時 ・ 本人や			
I-2意思決定過程の支援	I-2意思決定過程の支援	I-2-1 本人の意思を捉える支援	15 本人の意思を捉えるためのエピソード等の把握	・ 本人の ・ 本人の ・ 本人の			
			16 日常生活における意向の尊重	・ 本人の			
			17 意思決定支援の必要性の理解	・ 意思決 ・ 意思決			
		I-2-2 意思決定支援体制の整備	18 意思決定支援体制の整備	・ 本人へ ・ 関係者 ・ 意思決			

3.項目一覧 （看取り・家族への支援社会資源）

項目一覧（家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のマネジメント）

※テキストP319-320の「支援を行う上での重要な視点」を参考に作成した独自項目となります

「適切なケアマネジメント手法」				適切な支援内容とするための関連するアセスメント/モニタリング項目等			
大項目	中項目	小項目	想定される支援内容	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメントで特に重要な視点の項目	アセスメント項目	モニタリング項目	相談すべき機関・専門職
1 家族等への支援	1-1 家族等への支援	1-1-1 家族等への支援の視点	1 家族等を取り巻く環境の把握	・ 同居・別居を問わず、介護に関わる家族等の健康状況や生活状況を把握する	○	○	行政、包括、民生委員、自治会、在宅福祉アドバイザー等
			2 家族等に対する支援の必要性の把握	・ 家族等の介護に関わる役割の把握と介護負担の状況についての把握する	○	○	行政、包括、民生委員、自治会、在宅福祉アドバイザー等
			3 家族等支援における介護支援専門員の役割や留意事項の理解	・ 介護支援専門員として、家族等への支援の必要性やどのように家族等と関わるかについて理解する	○	○	行政、包括、民生委員、自治会、在宅福祉アドバイザー等
	2 社会資源や他法他制度の理解と活用	2-1 社会資源活用	4 インフォーマルサポートを含む複数の社会資源を組み合わせるケアマネジメント	・ 家族等を支援者として調整することに加え、地域の社会資源を把握し、利用者が家族に情報提供し調整を試みる	○	○	包括、社協、生活支援コーディネーター、保健センター、介護事業所
			5 難病（特定疾患）の理解 ⇒難病（特定疾患）者への支援制度の利用の支援	・ 難病（特定疾患）の理解	○	○	保健所、行政、医療機関（医師・看護師、PT・OT・ST）、訪問看護
			6 高齢者虐待防止関連施策の理解 ⇒高齢者虐待防止関連施策の利用の支援	・ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律の理解 ・ 高齢者虐待の発生状況と対応策・支援策 ・ その他の虐待防止関連法等の理解	○	○	行政、包括 行政、包括、警察署、保健所、民生委員、医療機関、居宅、介護事業所
		2-2 関連する他法他制度の内容や動向	7 障害者総合支援法の理解 ⇒障害者総合支援法の利用の支援	・ 障害者総合支援法の理解	○	○	行政、基幹、相談支援事業所
				・ 障害福祉サービスの理解（介護給付、訓練等給付、自立支援医療、地域相談支援給付、計画相談支援給付、補装具、地域生活支援事業など） ・ 相談支援専門員との連携	○	○	行政、基幹、相談支援事業所、医療機関、福祉用具事業所
					○	○	基幹、相談支援事業所、障害福祉事業所

12/23

12/24

「看取り」・「家族への支援・社会資源」
の演習時使用

4.振り返りシート(モデル) 5.主任更新講義資料 6.適切なケアマネジメント手法手引き

鹿兒島県介護支援専門員指導者 古城裕喜

5.演習の進め方・ポイント

【R6主任介護支援専門員更新研修】演習の進め方・ポイント（240分ver.）

時間 (分)	項目	内容	ポイント・役割
25	演習1 自己事例の振り返り	自己点検シートの振り返り及びグループ間での共有 5分:個人ワーク 20分:グループワーク	<p>*グループスーパービジョンのイントロダクションの時間でもあります。現場では「事例検討会」の経験が多いと思いますが、主任更新は「スーパービジョン(事例研究)」の研修です。</p> <p>主な視点は ①担当する介護支援専門員自身がどのような思いで事例に向き合っているか ②事例の背景で何が起こっているかを考える練習の時間です。</p> <p>●司会者 本日の役割分担の確認。1人3分程度で各自の発表を進める</p> <p>●参加者 自己点検シートを使って指導事例もしくは自己事例を振り返ったケースを1人3分程度で発表する。事例検討(問題解決)の視点ではなく、「スーパービジョン」(事例研究)の視点で各参加者の自己の振り返りを行います</p> <p>●事例発表者 事例発表と一緒に振り返りの発表をするのでここでは発表しない</p>
25	演習2 事例発表	事例研究・事例発表 事例発表の内容・順番 ①様式「事例のタイトル」 ②様式3「事例概要」(簡潔に3分以内) ③様式4「プロセスレコード」を要点を絞ってわかりやすく発表 ④様式3「バイザーとして考えた論点」 ⑤自己点検シートを通して気が付いたことなど	<p>*グループスーパービジョン(事例研究)で学ぶ内容</p> <p>●事例の中に見られる「課題解決・問題解決」の場ではない。「クライアント理解」の場である。ここでいうクライアントとは、指導を受けた介護支援専門員でもあり、事例ご本人でもある。担当する介護支援専門員が困難を感じている「課題」が何から生じているのかその背景を深めていきながら、事例の見立てや起きていることを考え、担当する(指導を受けた)介護支援専門員自身が次の行動にその思考を生かすことができるようになるための「事例研究」である。そのためには、事例検討会にならないようにグループの進め方で注意が必要。「私も同じような事例の経験がありこうすればいいですよ」「このアセスメントが不足していたのでは」「このような介入が必要では」のアドバイスや問題解決の検討にならないように司会者やスーパーバイザー役の方が適宜調整しながら(「今は事例検討の場ではないので、何が起こっているのかの背景を考えましょう…」など)進めていく。</p> <p>●事例報告者 ①事例概要(簡潔に3分以内)、プロセスレコード(様式4)を要点を絞って参加者に分かりやすく報告。 他のメンバーが起こっていることのイメージがしやすいように報告する。プロセスレコード(様4)を画面共有する。 事例概要より起きていることプロセスレコード(様式4)の報告が大切です。時間配分を気を付けましょう ②自分で考えた論点(ニーズの核となるもの)とそう考えた根拠を発表 ③自己点検シートを通しての振り返りも発表</p> <p>●参加者 「気づき促す質問」「事例を深める質問」を考えながら報告を聞く。事例をイメージするのに、頭の中で絵解きする。「事例報告をストーリーで聞く」練習をする。エコマップに関係線を引いてみる等も効果的。どこに「ひっかかり」を感じたかがこの後の「情報共有の質問」につながる。感性を研ぎ澄まして⇒問題解決の視点ではない。</p> <p>●司会者 報告のまとめ、報告者が考える論点の再確認をする</p>
10	休憩		

令和6年度主任介護支援専門員更新研修について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本会事業の推進につきましては、格段のご高配を賜り深謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、使用する資料とテキスト（購入希望者のみ）をお送りいたしますのでご確認ください。

また、研修の詳細を下記の通りお知らせいたしますので、重ねてご確認くださいませよう、お願いいたします。

記

【事例の発表について】

貴殿の演習時の事例発表は下記の通りです。

「脳血管疾患のある方のケアマネジメント」

発表する事例

【ID・パスコードについて】

日程はカリキュラムをご確認いただき、開始15分前までには必ず「グループ番号+個人名」で入室していただきますよう、よろしくお願いいたします。

氏名の前の数字がグループ番号となります。入力されないと演習に参加できません。

Zoom 演習・テスト用	
ID	932 8040 9759
参加者名	1 介護太郎
パスコード	641239

グループ番号

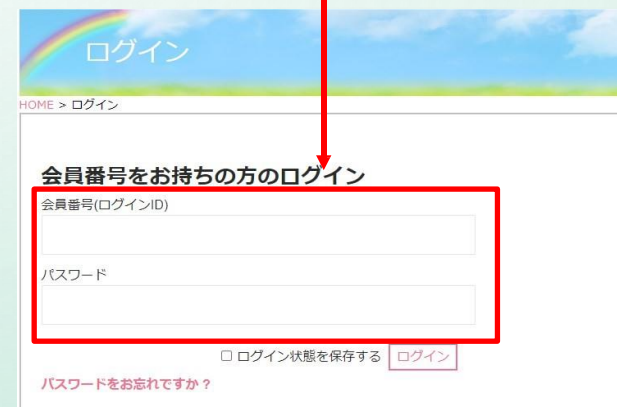
R6年度主任介護支援専門員更新研修受講手順

鹿児島県介護支援専門員協議会

期日	科目		受講手順
11月8日 ～11月27日	動画視聴	動画No.1 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向	11月8日から講義動画を配信します。 11/8～11/27の期間内に左記の5科目を視聴完了する。 ★ホームページ掲載「動画配信受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ＞法定研修関連＞動画配信受講マニュアル ※ 視聴が終わったら必ず「視聴完了」をクリックする。
		動画No.2 ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	
		動画No.3 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	
	動画視聴	動画No.4 ①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	動画No.4を視聴完了後、 発表事例 について、自己点検シートに記入しながら点検をする(事前学習)
	事前学習	①自己点検シート	
	動画視聴	動画No.5 ②脳血管疾患のある方のケアマネジメント	動画No.5を視聴完了後、自分がこれまでに指導した脳血管疾患のある方の事例(※指導経験がなければ、自身の実践)について自己点検シート(Ⅰ期・Ⅱ期どちらかひとつ)に記入をしながら点検をする。(事前学習) 左記5科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習に備える。
	事前学習	②自己点検シート	
11月28日 (木) (9:30～16:30)	演習 (ズーム)	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント (9:30～11:30)	事例発表者は指導したケアプラン等(開催要綱・6事例提出について※3参照)を手元に準備し、作成した提出事例様式4をパソコンに開いてからズームに入室する。名前の表記は「G番号 個人名のフルネーム」(介護太郎) ★ホームページ掲載「ズーム受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ＞法定研修関連＞ズーム受講マニュアル テキスト類・左記科目の事前学習した点検シートを準備しズームに入室する。
		②脳血管疾患のある方のケアマネジメント (12:30～16:30)	
11月28日 ～12月4日	動画視聴	動画No.6 ③認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	11/28～12/4の期間内に左記2科目を視聴完了する。 動画No.6を視聴完了後、自分がこれまでに指導した脳血管疾患のある方の事例(※指導経験がなければ自身の実践)について自己点検シートに記入をしながら点検をする(事前学習)
	事前学習	③自己点検シート	
	動画視聴	動画No.7 ④大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	動画No.7視聴完了後、自分がこれまでに指導した大腿骨頸部骨折のある方の事例(※指導経験がなければ自身の実践)について自己点検シート(Ⅰ期・Ⅱ期どちらかひとつ)に記入をしながら点検をする(事前学習) 左記2科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習を待つ
	事前学習	④自己点検シート	

ログイン画面1

<https://www.jcma.or.jp>



日本介護支援専門員協会HPより「会員専用Myページ」へ移動し
支給されたIDとパスワードを入力してログインします。

ログイン画面2



会員専用Myページへログイン後、「研修受講中」欄から動画を視聴する研修（専門研修課程Ⅱ）を選択します。

ログイン画面3



研修会名	日本協会法定研修テスト
研修内容	日本協会法定研修テスト
会場	東京都千代田区神田金子ビル
申込期間	令和06年2月26日～令和06年2月29日
日程	令和06年3月13日11:00～令和06年4月10日16:00
会員受講料(税込)	0円 (本体価格0円)
非会員受講料(税込)	0円 (本体価格0円)

申込 申込取消 受講票出力 <研修動画配信システムはこちら>

アンケート

会員専用 Myページ

操作に関するお問い合わせ

3訂/介護支援専門員 研修テキスト



<研修動画配信システムはこちら>をクリックすると、動画配信システムに移動します。

法定研修動画視聴



配信内容

研修種類	法定研修	<div>研修種類で「法定研修」を選択し、「07主任更新研修」を選択します。</div>
課程	07 主任更新研修	
研修名での絞り込み	<input type="text" value="研修名を入力してください"/> <input type="button" value="絞り込み"/>	

No.	主任更新研修		動画	視聴状況
	科目	科目名		
1	07-1	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向	視聴	未視聴(0/0)
2	07-2	ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	視聴	未視聴(0/0)
3	07-3	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	視聴	未視聴(0/0)
4	07-4-1	主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践（１）生活の継続及び家族等を支える基本的	視聴	未視聴(0/0)
5				未視聴(0/0)
6				未視聴(0/0)

クリックして動画を視聴

動画が再生可能な状態な科目はボタンがアクティブになります。（赤くなる）
 動画が登録されていない場合や、受講者として登録されていない、視聴期間切れなどの場合、ボタンが非アクティブな状態になります。（画像は非アクティブな状態）



動画視聴



動画視聴

1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

本科目の習得目標

- 介護保険上のサービス内容を説明できる（知識、技術、態度）
- 介護保険上のサービス内容のケアマネジメントを実施できる。（知識、技術、態度）
- 介護保険上のサービス内容を地域で指導できる（知識、技術、態度）

説明、実施のポイント = 指導ポイント

©Japan Care Manager Association 2

戻る

◀ この動画の最初から再生する

↺ 10秒巻き戻す

再生の途中で
「この動画の最初から再生する」
「10秒巻き戻す」ことが可能です。

動画は早送り再生できません。

一時停止はできますがブラウザを閉じたりすると冒頭からの再生になります。

1本20～40分程度に分割しております。（例：120分の講義は20～30分動画×4～5本）

トラブルを回避するためにも、視聴完了してから休憩等をすることをお勧めします。



視聴完了登録



研修配信システム

ログアウト

動画視聴

◀ この動画の最初から再生する

↺ 10秒巻き戻す

8-2 独自研修2

1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

動画視聴お疲れさまでした。
ボタンをクリックして視聴完了登録をしてください。

クリックして視聴完了を登録

視聴完了

再生時間 29秒 (配信期間 2024/03/27~2024/03/27)

戻る

動画が終了したら必ず視聴完了をクリックしてください。
視聴完了をクリックして登録をしないと、完了となりません。



視聴完了



研修配信システム

ログアウト

動画視聴

1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

動画の視聴が完了しました。

次の動画を視聴する

※必ずご視聴ください

視聴期間最終日23:59までに
視聴完了すること！

視聴完了の登録をするとページが遷移します。
このページへの遷移をもって視聴完了チェック画面に反映されます。
複数の動画がある場合は続けて視聴できます。

こんな時は・・・

- ▶ 動画がスムーズに再生できない
- ▶ 完了ボタンが押せない
- ▶ 完了ボタンを押すと日本協会のホームページになる

問い合わせ先
03-3518-0777
(日本協会)
9:30～17:00

➡以下を確認してみましょう

★ インターネット接続は有線LANですか？

(なるべく無線LAN (WI-FI) ではなく、有線LANで繋ぐことを推奨します。)

★ パソコンのOSのアップデートはお済みですか？

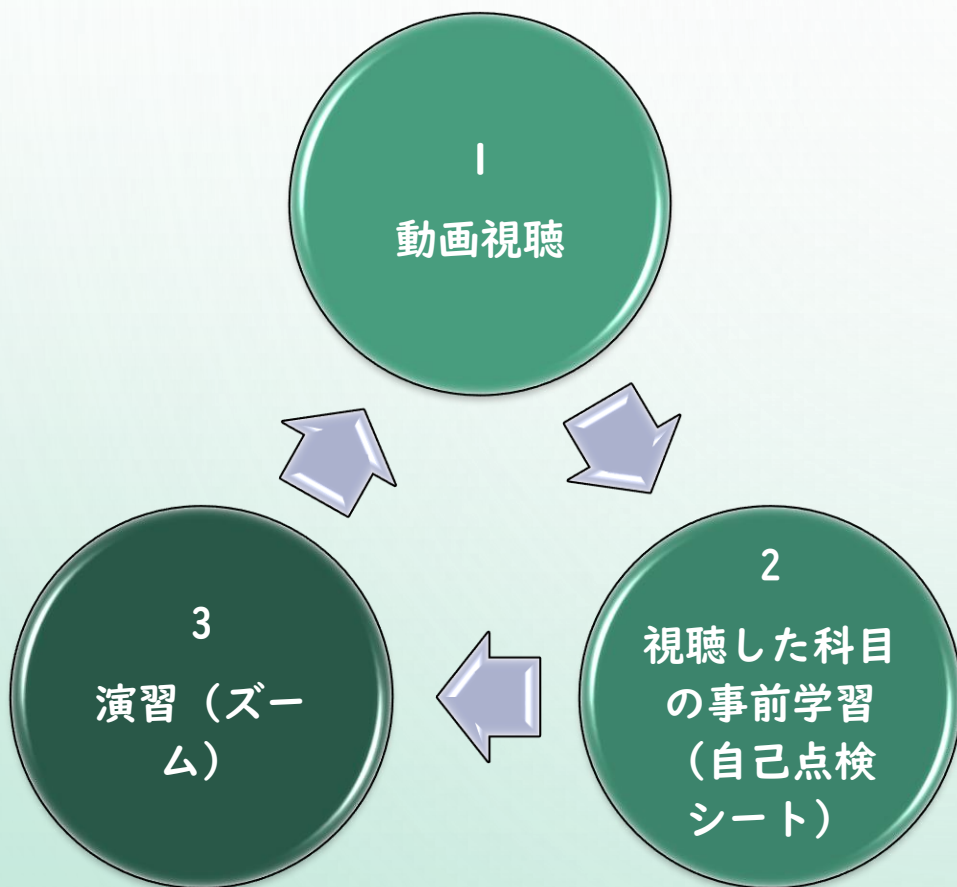
(パソコンは最新の状態にしておきましょう)

★ 使用するWEBブラウザ (クローム、サファリ、エッジなど) は、「グーグルクローム」を推奨しています。



自己点検シートについて その1 (演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・



例えば。。。11月8日～11月27日の場合

動画No.1～No.3 講義動画視聴完了

動画No.4 「①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」動画視聴完了

「①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」自己点検シートの記載

動画No.5 「②脳血管疾患のある方のケアマネジメント」動画視聴完了

「②脳血管疾患のある方のケアマネジメント自己点検シート記載

11月28日 ズーム演習

自己点検シートについて その2

(演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・

第4章-1 (動画No.4) 「生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」

事例発表の科目

➤ 発表事例を自己点検

第4章-1 (動画No.5) 「脳血管疾患のある方のケアマネジメント」以降の科目

事例発表の科目

➤ 発表事例を自己点検

事例発表以外の科目

➤ これまでに指導した該当科目事例(※指導した経験がなければ自身の実践事例)を自己点検

※提出事例に限らない

自己点検シートについて その3 (演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・

- 第4章-1 (動画No.5) 「脳血管疾患のある方のケアマネジメント」
- 第4章-4 (動画No.7) 「大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント」
- 第4章-5 (動画No.8) 「心疾患のある方のケアマネジメント」

事例の時期により、**I期・II期**があります

脳血管疾患のある
方のケアマネジメ
ント

テキストP160～164

大腿骨頸部骨折の
ある方のケアマネ
ジメント

テキストP208～211

心疾患のある方の
ケアマネジメント

テキストP235～240

講義内容・テキストなどを参考にI期・II期どちらかひとつを自己選択

自己点検シートについて その4 (演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・

(参考)

日本総研・「適切なケアマネジメント手法」に関する事業成果物
(<https://www.jri.co.jp/service/special/content11/corner113/caremanagement/04/>)

- 令和2年度 適切なケアマネジメント手法 基本ケア及び疾患別ケア 令和2年度改訂版 (PDF)
- 適切なケアマネジメント手法の手引きと関連動画

ズーム演習当日に準備しておくもの その2

事例発表者

その1に加えて・・・

パソコンに準備

発表事例：様式4

鹿児島県主任介護支援専門員更新研修（演習用事前提出資料） 様式4

○提出事例に関するスーパービジョンの経過（プロセスレコード）を作成してください。

科目名		氏名		
起きたこと（事象、できごと）		その時、担当ケアマネが 感じていた支援課題と その対応・働きかけ	利用者本人、その家族や地域住民、 担当ケアマネに対して行われた 主任介護支援専門員としての関わり	主任介護支援専門員としての考察 （スーパービジョンの視点）
日付	事例で起こったこと			

No.

手元に準備

指導対象者（指導を受けた介護支援専門員）が作成した資料

- ・ アセスメント関連資料
- ・ ケアプラン一式
- ・ 支援経過記録

ズーム操作方法・留意事項はマニュアルを参照

動画配信システム



[鹿児島県介護支援専門員協議会ホームページ](#)

▶ 法定研修関連 ▶ [動画配信受講マニュアル](#)

ズーム



[鹿児島県介護支援専門員協議会ホームページ](#)

▶ 法定研修関連 ▶ [ズーム受講マニュアル](#)

ホームページ



[HTTPS://KAKEN-
CM.ORG/](https://kaken-cm.org/)



ズーム入室する前に・・・事例発表者

鹿児島県主任介護支援専門員更新研修（演習用事前提出資料） 様式 4
○提出事例に関するスーパービジョンの経過（プロセスレコード）を作成してください。

科目名		氏名		
起きたこと（事象、できごと）		その時、担当ケアマネが 感じていた支援課題と その対応・働きかけ	利用者本人、その家族や地域住民、 担当ケアマネに対して行われた 主任介護支援専門員としての関わり	主任介護支援専門員としての考察 （スーパービジョンの視点）
日付	事例で起こったこと			

No.

- ① 発表事例（様式4）のエクセル（PDF等でも可）を開く
- ② 様式4のエクセル（PDF等でも可）を開いたままズームを立ち上げ入室する

ズーム入室

- ズームID・パスコードは本日と同じ
- 名前表記は「グループ番号 フルネーム」
例：「1 介護太郎」
- 音声はミュートで待機
- 開始時間（11/28のみ9：30・以降9：00）
 - 1 5分前までには入室
 - 5分前までには着席

入室してから研修開始までに確認してほしいこと

- スピーカーとマイクのテスト
- ビデオカメラの確認
画面中央に顔が入っているか
逆光などで画面が暗くなっていないか等

安定したズーム演習を行うために

- 無線LAN（WiFi等）でも受講可能ですが、できるだけ有線LANでの受講をお勧めします。
- パソコンやズームアプリの更新は必ず済ませ、最新の状態にしてください。
- デバイスは原則パソコンでの受講をお願いしていますが、急な機材トラブルや通信環境の不具合等により復旧に時間がかかる場合などに限り、スマートフォンやiPadでの受講を認める場合があります。
トラブル時の一時的な対策として、スマートフォンやiPadにズームアプリをダウンロードしておくことをお勧めします。

最後に・・・お願い

○受講管理システムに登録をしてあるメールアドレスにメール配信をしています。

時々メールの確認をしてください。

○電話で問い合わせをするときは、最初に事業所名と名前をお伝えください。受講状況のお問い合わせには介護支援登録番号が必要になります（対応時間は8：30～16：00）

○機材や通信状態のトラブル、急な体調不良等も十分想定されますので、動画視聴や課題などは、なるべく早めにお済ませください

○体調はしっかりと自己管理をしてください。